

株式会社いづも農縁「行動計画」

女性の職業生活における活躍を支援することは、企業として社会的に重要な責務であることを明確にし、従業員が安心して働ける環境をつくるため、次のような行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成 30 年 6 月 1 日～平成 33 年 5 月 31 日までの 3 年間

2. 当社課題

- (1) 子育てや介護を支援するためには休業制度だけでなく「いつでも休める」体制をつくる必要があるが、業務の専門性が高く、相互に連携支援する体制を作るためにも多能工化が必要である。
- (2) 社内に農業生産、加工、販売の部門があるが、部門により繁忙期の違いがあり、生産性の向上と相互連携支援体制構築をはかるためにも多能工化が必要である。
- (3) 農業生産部門においては男性に偏っており女性活躍の場を創出できていない。
- (4) パートタイムスタッフの正社員採用及び管理職への積極登用をしたい。
- (5) 女性の勤続年数も長く管理職の割合も 60%と、女性活躍については一定水準を保っていると言える一方で、新卒採用（募集）に対する応募が少なく企業広報の強化が必要である。

〈女性の活躍状況〉

所属	男性正社員数	うち管理職	女性正社員数	うち管理職
農業生産	2	1	1	0
加工	0	0	1	1
販売	1	0	3	2
生産・加工・販売	2	0	0	0
計	5	1	5	3

3. 目標、取組内容、実施時期

(目標 1) 女性の積極採用に関すること

農業生産部門の採用数を現状 1 人から 2 人以上に増やし、かつ女性の採用率を 51%以上に引き上げる。

(取組内容 1) 平成 30 年 6 月～

- 女子学生に向けた企業説明会、職場見学・体験を行う。
- 女性が農業生産に従事し易い環境整備（更衣室、ロッカー、冷暖房など）を行う。
- 女性でも扱い易い、軽量で安全性の高い農業機械を購入する。

(目標 2) 女性の配置・育成教育訓練に関すること

配置転換により農業生産部門の女性を 1 人以上増やし、女性の割合を 40%以上に引き上げる。

(取組内容 2) 平成 30 年 6 月～

- 配置転換への制度（ルール）を策定するための面談やミーティングを行う。
- 多能工化を進めるため、他部門の業務に関する研修を行う。
- 女性が農業生産に従事し易い環境整備（更衣室、ロッカー、冷暖房など）を行う。
- 女性でも扱い易い、軽量で安全性の高い農業機械を購入する。

(目標 3) 女性の積極登用・評価・昇進に関すること

パートタイムスタッフの正社員採用及び管理職への登用を推進して行く。

(取組内容 3) 平成 30 年 6 月～

○管理職向けの社内・社外研修を行う。

○キャリア UP のための研修を行う。

(目標 4) 多様なキャリアコースに関すること

現状の 1 部門に専任する中から、複数部門に従事できる女性社員を 1 人以上増やす。

(取組内容 4) 平成 30 年 6 月～

○キャリア UP のための研修を行う。

○総合職転換への制度をつくる。

(働き方改革に向けた取組)

有給休暇取得率の向上と心身のリフレッシュを両立するために、連続有給休暇取得の促進をはかる。

株式会社いづも農縁の課題分析の概要

(厚生省評価シート分析：正社員)

○採用した女性労働者の割合 1/2 50%

○男女平均勤続年数 女性：男性=9.8年：5.9年

○管理職の女性割合 3/5 60%

判定結果→女性の活躍が比較的進んでいる（評価シートにかなり進んでいる項目ないので優良）

((厚生省評価シート分析：非正社員)

○採用した女性労働者の割合 0

○男女平均勤続年数 女性=7.7年

○育児・介護休暇、年次有給休暇も充実している

100%女性で、意識調査結果などから優良

(経営理念、方針からみた課題)

○部門毎の目標や方針ははっきりしているが、社全体の視点にたった部門間連携や相互支援の場が限られている。専門性を高めるだけでなく、多能工化を進めることで、生産効率や販売向上も必要。

- ・生産部門は加工や販売の先を考えた栽培や品質管理、お客様の声を深く知る
- ・加工は生産物の品質（思い）や販売されるお客様困りごと考えた品質管理
- ・販売は原料生産の品質（思い）、加工品質（思い）の理解とお届け
- ・生産現場の情報（生育状態、品質）の女性目線での発信の向上
- ・販売部門の専任担当以外のプロモーションやWEBの理解
- ・在庫管理（回転率の把握と適正在庫）

株式会社いづも農縁の行動計画概要

〈課題〉

○社全体の視点に立った、部門間連携と相互支援

- ・生産部門のお客様理解
- ・加工・販売部門の生産現場（生育状態、品質）理解
- ・プロモーション新規客、リピート客、中止客の顧客動向の理解
- ・適正在庫管理

○企業広報（会社風土、CI、BI、採用情報、見学体験情報）

〈対策（目標数値、取組内容）〉

○新規採用、部門配置、職責の見直しによる部門の業務ボリュームと力点のバランスをとる

○多能工化を進める上で、各部門の専門性を知り実践できる内部・外部研修を行う

○専任部門でなくても、売上（新規、リピート、中止などお客様動向）と原価（適正在庫管理）の把握

○会社の情報発信（経営理念、行動指針、基本姿勢、スタッフ紹介、農園、加工、販売、採用、見学体験）